

《人間失格》

图书基本信息

书名：《人間失格》

13位ISBN编号：9784101006055

10位ISBN编号：4101006059

出版时间：1952-10

出版社：新潮社

作者：太宰治

页数：185

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com

《人間失格》

内容概要

第一の手記

「自分」は人とは違う感覚を持っており、それに対して混乱し発狂しそうになる。それゆえにまともにも人と会話が出来ない「自分」は、人間に対する最後の求愛として道化を行う。だがその「自分」の本性は女中や下男に犯されるという残酷な犯罪を語らず力なく笑っている人間であった。結果的に「自分」は欺きあう人間達に対する難解さの果てに孤独を選んでいく。

第二の手記

中学校時代、「自分」は道化という自らの技術が見抜かれそうになり恐怖する。その後旧制高校において人間への恐怖を紛らわすために悪友堀木により紹介された酒と煙草と淫売婦と左翼思想とに浸った。これらはすべて、「自分」にとって醜悪に見える人間の営みからひとときの解放をもたらす物だった。

しかし急激に環境が変わることにつれて様々ながらみから逃れがたくなり、結果として人妻との暖かな一夜の後に、彼女と心中未遂事件を起こす。しかし、「自分」一人生き残り、自殺幇助罪に問われる。結局、父親と取引のある男を引受人として釈放されるが、混乱した精神状態は続く。

第三の手記

罪に問われたことをきっかけとして高等学校を放校になり、一時引受人の男の家に逗留することになるが、男に将来どうするのかと詰め寄られて「自分」は家出をする。それをきっかけに子持ちの女性や、バーのマダム等との破壊的な女性関係にはまりこむことになり、「自分」はさらに深い絶望の淵に立つことになる。

その果てに最後に求めたはずの無垢な女性が、出入りの商人に犯されて、あまりの絶望にアルコールを浴びるように呑むようになり、ついにある晩、たまたま見つけた睡眠薬を用いて、発作的に再び自殺未遂を起こす。

なんとか助かったものの、その後は体が衰弱してさらに酒を呑むようになり、ある雪の晩ついに嘔血する。薬を求めて入った薬屋で処方されたモルヒネを使うと急激に調子が回復したため、それに味を占めて幾度となく使うようになり、ついにモルヒネ中毒にかかる。モルヒネほしさのあまり何度も薬屋からツケで薬を買ううちにのっぴきならない額となり、ついに薬屋の奥さんと関係を結ぶに至る。その、自分の罪の重さに耐えきれなくなり、「自分」は実家に状況を説明して金の無心の手紙を送る。

やがて、家族の連絡を受けたらしい引受人の男と堀木がやってきて、病院に行こうと言われる。行き先はサナトリウムだと思っていたら、脳病院へ入院させられる。そして他者より狂人としてのレッテルを貼られたことを自覚し、「自分」はもはや人間を失格したのだ、と確信するに至る。

数ヶ月の入院生活ののち、故郷に引き取られた「自分」は廃人同然となり、不幸も幸福もなく、ただ過ぎていくだけなのだ最後に語り自白は終わる。

《人間失格》

作者简介

《人間失格》

精彩短评

- 1、典型的日本半自传...
- 2、很想说点什么，但完全无话可说。
- 3、根据书后评论，此文在杂志连载到一半，刚好赶上作者（终于）自杀成功，无敌的宣传啊~ 无比羡慕此人的粉丝。有评论说，太宰的文体就是能让人有“这世界上我最能理解他”的感觉.....嗯，其实我也有不能很好共鸣的地方，他是如此的中毒体质，对酒精对药物对情死战友，哪里是人间不信，简直是人间滥信。其实不敢依赖任何东西不敢求救的人，才更加的人间不信吧。
- 4、太宰、神！
- 5、耻の多い生涯を送って来ました。
- 6、很明显的感情 很巧妙的技巧 后悔没有好好上文学史的课 不然一定可以更好的理解这本书
- 7、若一個人沒能力/沒打算要令自己在人世過得好，可能離開人世是正確選擇。要不死，要不就好好積極生活。
- 8、找不着toma封面版的- -随便选一个版本，反正都差不多.....
- 9、耗时三个月 断断续续看的 小学时期初次看，只觉得很难受，但是没有感触。后来看到了古屋兔丸的漫画 感觉这部作品靠漫画来表达悲痛绝望会很难（事实上我觉得漫画版本只是做到了改编而不是还原。现在才觉得这部作品最难得的地方是，把日本人原本就纤细的灵魂刻画的更纤细 可以被灰尘压倒 懦弱与骄傲并存 更像是夸张的代表了大部分日本人
- 10、意外に深く共感を持ち、そもそも人間ってそういうもんだろう
- 11、小正给淘到鸟这版!!! 感动的要跪了好吗!!!
- 12、当初读译本的时候只觉得别扭到不行，今次读原作却被数次直击心脏
- 13、压抑得很
- 14、『無抵抗は罪なりや』
据说这是日本那个时代的年轻人们座右铭似的作品，自己读完日文版后感慨万千，相见恨晚。人类的本质，存在的证明，还有纯洁无暇的内心，神一下的好孩子，最终却失去为人的资格。到底谁才真正地活着，以及活过？
- 15、それは、自分の、人間に対する最後の求愛でした。
- 16、神一样单纯又复杂的作者和作品
- 17、总共两个月时间看完
- 18、この小説は僕の好みではないかも知れないが、もう一度改めて読む価値があると思う。
- 19、有些人的心理生来自我防御系统缺失，他们更容易看见真实，他们也极度敏感，成刺猬状，他们不同程度地厌世恶己，所见尽是丑陋。
- 20、看了两遍，现在可能不那么喜欢了，大概是因为我更积极乐观了吧。
- 21、弱虫は、幸福をさえおそれるものです。< 印象深刻的一句。
- 22、适合年轻时读的书
- 23、人間というのは誠におそろしい
- 24、救いのないエリート感
- 25、太致郁，以至于无法找到共鸣，迅速翻完
- 26、弱虫です。幸福さえ恐れるものです。綿で怪我をするんです。...と。
- 27、もっとも、自分は、世の中の人間にだって、果して、「愛」の能力があるのかどうか、たいへん疑問に思っています）そのような自分に、所謂「親友」など出来る筈は無く、そのうえ自分には、「訪問ヴィジット」の能力さえ無かったです。他人の家の門は、自分にとって、あの神曲の地獄の門以上に薄気味わるく、その門の奥には、おそろしい竜みみたいな生臭い奇獣がうごめいている気配を、誇張でなしに、実感せられていたのです。
誰とも、付き合いが無い。どこへも、訪ねて行けない。
- 28、第一次读日语原版书。很辛苦，但是果真还是原版更能够表达出原意。
- 29、所謂「死相」というものにだって、もっと何か表情なり印象なりがあるものだろうに、人間の体に駄馬の首でもくっつけたなら、こんな感じのものになるであろうか、とにかく、どこという事

《人間失格》

なく、見る者をして、ぞっとさせ、嫌な気持ちにさせるのだ。

30、其实内容都忘了 但是是可以一口气读完的小说

31、大学课文里学过一点点。之后写毕业论文参考了这部小说，才全部看完。怎么说呢，太宰治的小说都带有强烈的时代性，同时也具有他独有的扭曲视角。他的其他作品我也多多少少看过，但还是《人间失格》最棒。

32、读前半段，还和主人公有一些共感。读到后面真的就直接不理解了。一种“我生来就是这种思维这种方式就只能这么堕落”的感觉。决定我们人生的只有我们自己。

33、第一次读中文版整体印象其实已经模糊了，但一直觉得如同书名阴暗的不行，甚至有些片段深深地刻在脑海以至于常常怀疑与世间格格不入的自己是不是也人间失格了。但此次重看原版觉得太宰并没有用想象中那么阴郁的笔调去写，自己的生活同叶藏也十分不同，好奇脑袋是否擅自篡改了记忆让少年时分的人们为了是自己特别而以主人公境遇自比了。不过小说的魅力不只是唤起共鸣，第一人称叙事让感情很容易被带动，很轻易地便沉入了太宰满是无赖与无奈的文字之海，会溺亡也说不定。更何况我是被告诫过不要过分沉迷与书本的消极气氛的体质。不抵抗是罪吗？道化之路一旦开始便恐惧停下的无奈，难得的信仰被玷污摧毁的崩溃，到底是人間失格还是在失格的人间生而为人本身就是个错呢。

34、生而为人，我很抱歉。

35、越看越抑郁的书。

36、有性不幸

37、没有资格生而为人

38、我终于开始读这本书惹！一种相当愉快的阅读感受，完全不想去自杀，大可以放心阅读。书本身流淌着天才的气息，而且因为作者本人并没有什么杀伤力，留给世间的原来是温柔

39、「恥の多い生涯を送ってきました」

太宰治用这句话形容了他的人生，写了这本自传，同时为遗书。

在完成这部作品的一个月后，他完结了自己的生命。

40、太宰治的行文明显比三岛平实得多

41、争取在看电影前看完

42、内容就不多做评价了。只是再次确认了读原作和译作是完全不同的感觉这个事实。

43、「神に問う。無抵抗は罪なりや？」

44、断断续续读电子版,原版.终于在忙中读完。那一句“钱一用完，缘分就断”说出了许多男人的心声.其实不止是男人会有这样的感叹,没有钱意志消沉，性情乖戾，破罐子破摔的人,实在不少.珍惜有限的生命和时间，不要浑浑噩噩过日子，是这本有点意志消沉书最大的积极启示.

45、“大义名分”、“真理”的崩论，个体的挣扎与对社会习俗的反抗与反讽等等.....感觉前半还不错，后边有点堕入俗套（除了悲剧/喜剧名词那一部分）.....我看的就是新潮文库本啊（人大旧书市5块一本捡回来的），但跟豆瓣上的封面不一样.....

46、這是我讀過最震撼的日本小說。其對人性的絕剖透徹入骨，活著的矛盾和糾結隨著本能不斷瘋狂滋長，吞噬了自我，成為了自我。最絕望之處成最美。為何而生，為何而死？人生最初的問題又最為無答可解的問題，太宰治把它四分五裂，送到你眼前。

47、看来看去，还是太宰治好。不过这里没有集英社版的呢，青文学那套确实不错呢。

48、耳のすぐそばで悪魔のつぶやく

《人間失格》

精彩书评

1、真不知道是用怎样的心情读完了这篇《人间失格》，主人公纤细脆弱的神经活动困扰着我，每每因为书中过于阴郁的氛围而读不下去，停下看看动画片再继续读，这样反反复复着，薄薄的一本书竟然读了半个月。人为了生存下去而把自己伪装起来这件天经地义的事，在主人公那里变成了可憎可鄙的“道化”，对自己内心的反省的重要性超过了任何社会道德法律规范，对人性的迷茫加剧了对人生的迷茫。上司几太（殉情生还）无休无止气弱成性的痛苦流涕，那些撕心裂肺毫不知耻的内心剖白带着读者们走上了和他同程的堕落不归路。

《人間失格》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu111.com